

鯖江市教育委員会

1月定例会議事録

令和3年1月12日（火）

1 会議概要

- 日 時 令和3年1月12日(火) 午後3時00分開会
午後3時40分閉会
- 場 所 鯖江市役所4階第2委員会室
- 出席委員
辻川 教育長
笹本 教育長職務代理者 蓑輪 委員
中村 委員 柴田 委員
- 欠席委員
なし
- 出席説明員
福岡 事務部長 木村 教育審議官
高島 教育政策課長
- 欠席説明員
品川 健康福祉部長 齋藤 生涯学習・スポーツ課長
西山 文化の館副館長 前田 文化課長兼まなべの館館長
田中 子育て支援課保育・幼児教育室長 瀬野 生涯学習・スポーツ課主幹
- 書記
高島 教育政策課長
- 議事日程
(1) 開会の宣告 午後3時00分開会
(2) 会議録署名人の指名 蓑輪 委員 中村 委員
(3) 報告事項
(4) 議案
議案第1号 令和2年度鯖江市教育委員会感謝状授与の決定について
可決
(5) 教育長の報告
(6) その他
① 総合教育会議について
② 令和2年度卒業式日程および委員の出席割振りについて
③ 次回開催予定等について
2月定例教育委員会開催予定
日 時 2月15日(月) 午後3時
場 所 鯖江市役所 4階第2委員会室
(7) 閉会の宣告 午後3時40分閉会

2 会議大要

(1) 報告事項

なし

(2) 議案審議

議案第1号 令和2年度鯖江市教育委員会感謝状授与の決定について

【説明】

教育政策課長が令和2年度鯖江市教育委員会感謝状授与の決定について説明

【質疑】

〈委員〉

スポーツ功労賞の基準年数は7年だが6番目の候補者の方の活動期間は27年とある。基準年数を超えてかなり年数が経っているが何か訳があるのか。

〈教育政策課長〉

スポーツ協会からの内申によるもので、それぞれの競技協会の事情があって遅れていると思っている。3番目の候補者の方については元市職員で、現役の市職員は内申を遠慮してもらおうという流れもあり遅れたと思われる。

〈教育長〉

それぞれの競技協会からスポーツ協会への内申が漏れていたか遅れていたか、学術文化でも活動期間が35年の方がいるが、この人も文化協議会への内申が漏れていたか協会で把握しきれていなかったのではないかと思う。

〈委員〉

スポーツ功労や学術文化活動の推進者など対象者によって基準年数が違う理由は何か。

〈教育政策課長〉

以前はもう少し基準が細かくなっていたが、だいぶ揃えてきている。現在は対象者の功績内容によって10年、7年、5年といったパターンを設けている。

〈教育長〉

議案第1号に異議はないか。

(異議なしの声)

〈教育長〉

異議なしと認め、議案第1号を承認することとする。

(3) 教育長の報告

大雪による小中学校の臨時休業について

成人式について

社会教育研究集会について

(4) その他

① 総合教育会議について

【質疑】

<教育長>

総合教育会議はどのように進めるのか。

<教育審議官>

GIGAスクール構想についてはタブレット端末を市長および教育委員に用意し、実際に体験いただこうと思っている。簡単なアンケートに回答する方法、共同で1つのファイルを編集する作業、さらにビデオ会議を体験後、個別学習支援ソフト等が紹介できればと思っている。まずはデモンストレーションし、それからGIGAスクールの今後の方向性について意見をいただきたいと考えている。

<教育長>

現段階でタブレット端末の調達、配備状況はどのようになっているのか、また、受け入れる学校側の先生への研修はどこまで進んでいるのか、児童生徒はすでにタブレットを触ったりしているのか教えてほしい。

<教育審議官>

タブレット端末の整備は小中学校15校全て終わっている。

1月から本格的に子ども達に使用してもらうように、1月8日付で保護者の方に手元の資料を配布し案内している。今月中旬までに活用のルールを子ども達にしっかり指導した上で、下旬には一度家庭に持ち帰ることも予定している。

教職員への研修等については、すでに中学校は終えており、小学校は2巡目に入っている。ICT教育の指導力向上にもしっかりと取り組んでいる。

<教育長>

教職員の働き方改革については、時間外勤務が月80時間以上の教職員をゼロにするといった具体的な目標を達成するためにどうしたらよいか、また、なぜ超過勤務が多いのか、教育委員会としてどのような応援ができるのかを協議するということによいか。

最後の新型コロナウイルス感染症の対応状況については今後に向けてどのような取り組みが必要かを協議していくイメージによいか。

<教育政策課長>

これまでの経過と主な取り組み、そしてこれからの取り組みということで、これからどうしたらよいか意見をいただきたいと思っている。

<教育長>

これからの取り組みとして新年度予算で要求しているものはあるのか。

<教育審議官>

新年度予算になるか3月補正予算になるかは未確定だが、アルコール消毒液等の消耗品の購入、修学旅行等のバスについて三密を避ける為にバスを増発したり車両を大型に変更

したりするために必要な経費の助成を考えている。

<教育事務部長>

その他の取り組みとして、文化課では平日活動されている方などが展示の機会を失われているということもあり、予算的にはゼロ予算に近い内容だが、選考といった事は一切無しで展示の機会を年に2回ほど設ける事業を考えている。

また、文化の館では家に引きこもりがちになってきている高齢者の方を対象に、高齢者サロンへ出向いて本を貸し出す、あるいは図書館に来ていただくために、第二の人生以降のいろんな趣味といったものを喚起するコーナーを設ける取り組みを考えている。

施設管理をしている課ではコロナウイルス感染防止対策の費用を予算要求している。

<教育長>

新年度予算で要求しているものの説明は各担当課がするのか。

<教育事務部長>

この1年間、コロナ禍に対して教育委員会としてもその場その場でいろんな対策をしてきたが、この状態で2年目を迎えるかもしれない状況の中で、今考えられる対策や事業について予算要求して考えているが、新たにこういったものが必要ではないかという意見があればいただきたい。

<教育長>

基本的に3月補正や新年度予算でどのような要求しているか、委員に知らせておかないと話がしにくい。来週の総合教育会議までに準備できるのか。

<教育事務部長>

準備する。

<委員>

要求している予算や来年実施しようという事業を会議の場で説明してもらって質問するのは分かりにくいので、資料は事前にいただきたい。

<教育政策課長>

準備する。

<委員>

総合教育会議は新市長の教育への思いを聞く場でもあると思っているので、次の教育大綱に関係するのかもしれないが、この4年間の教育をどの様に考えているのかお聞きしたい。それに伴って新しい事業をしなければならないのか、少し整理整頓をしなければいけないのかなという気がする。

直近のGIGAスクールや働き方改革もそうだが、ものづくりについては、めがねのまちを継承しているのか、新市長は教育ではどの様な柱を用意しているのか、その用意している柱に対して、更に肉付けする必要があるのか伺いたい。

中学校がものづくり博に参加するなど体験活動もしているが、ものづくりに対し、更に思いがあるならば市長の考えを聞く良い機会ではないか。ものづくりを継承してくという事を全面に出されると思うので、そういうところの話ができるとうい。

<教育事務部長>

市長と事前に総合教育会議の打ち合わせをした際に教育大綱についても説明させてもらっている。内容について市長のお考えを伺ったが、基本的にはその現在の内容を継承していきたいということであった。ものづくりが大きな項目であることは、当然市長も認識されている。今年度、コロナ禍の中でもものづくり博は中止になったが、いろいろな形での事業展開を考えている。

<委員>

教育大綱は再来年度の改訂に向けて、来年度はたたき台をつくることになると思うが、教育大綱に活かすよう、新しい施策に盛り込んでいただけるとよい。組み直しが必要であると思うので、その中に市長の考えを反映していただくことを伝える場でもあると思う。新しい教育、新しい鯖江について、少し市長と語る必要があるのではないかな。

<教育長>

委員の意見について、市長とのミーティングの中で伝えてもらおうとよいし、総合教育会議をそういう議論の場にさせてもらいたい。

- ② 令和2年度卒業式日程および委員の出席割振りについて
- ③ 次回開催予定等について案内：2月15日（月）午後3時から開催
- ④ 2～3月の行事予定について

議事録署名人 蓑輪 進一

議事録署名人 中村 知恵